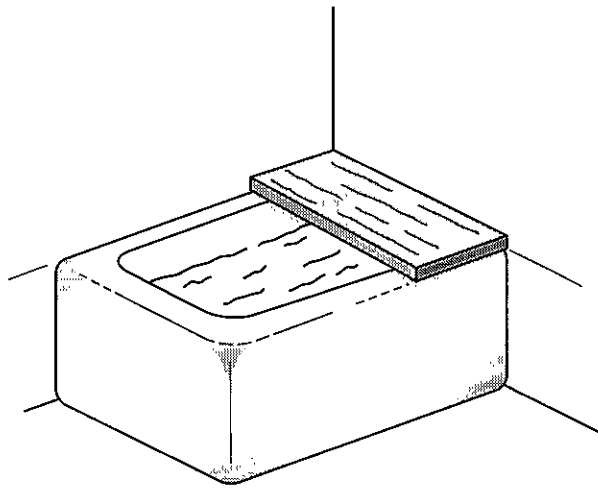
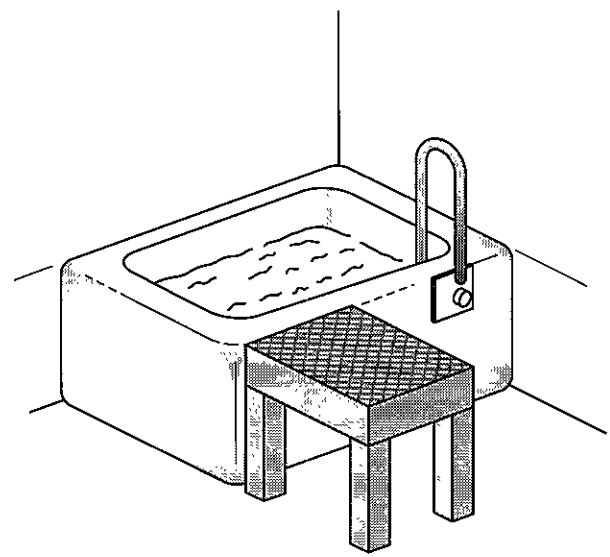


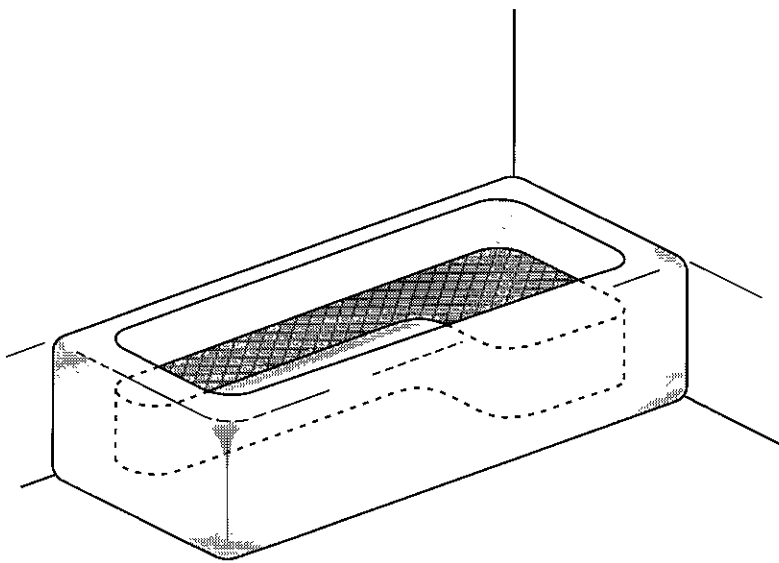
問題26 頸髄損傷(第7頸髄節まで機能残存)において適切な浴槽はどれか。



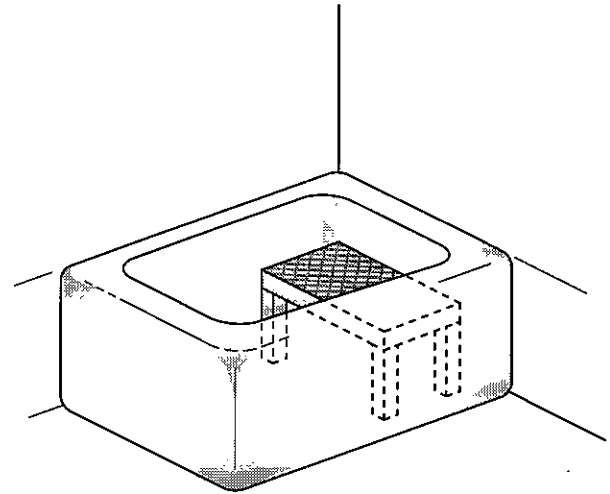
1



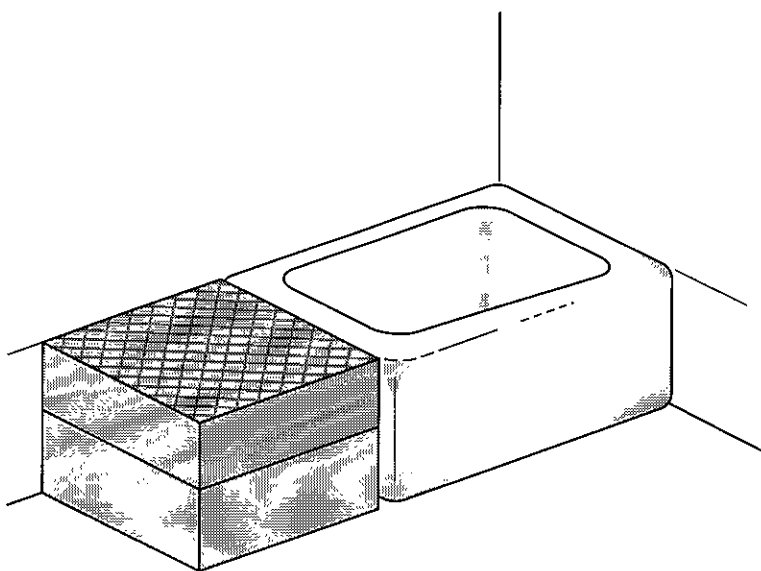
2



3



4



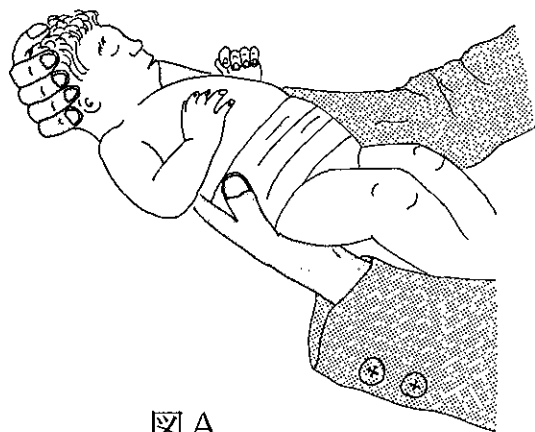
5

問題27 65歳の男性。頸髄不全損傷。現在のADLは次のとおりである。整容は自立。食事は普通食を柄つきスプーンで自立。着替え、トイレ動作は部分介助。入浴は全介助。臥位から自力で起き上がり端座位をとれるが、車椅子への移乗は全介助。移動は車椅子で自立。排便・排尿は時々失禁がある。

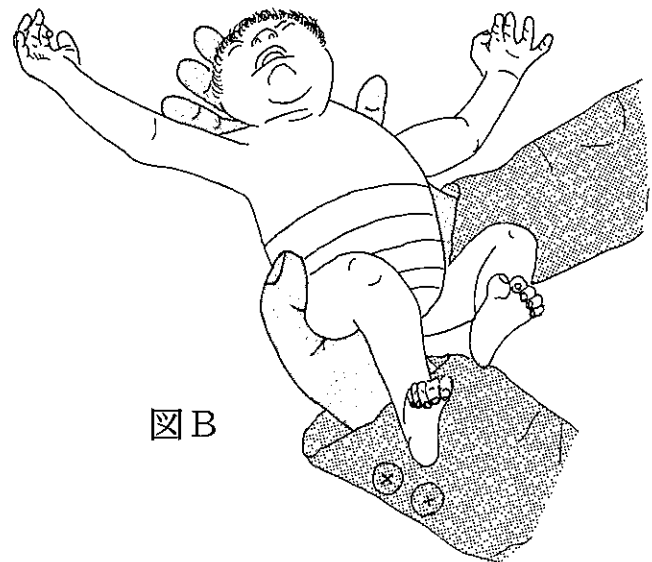
Barthel indexは何点か。

1. 35点
2. 40点
3. 45点
4. 50点
5. 55点

問題28 2か月の乳児。図Aの状態から後頭部の手の支えをはずすと図Bのようになった。この反応について正しいのはどれか。



図A

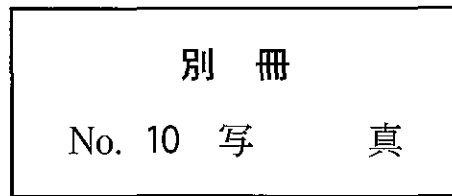


図B

1. 平衡反射の一つである。
2. 生後6か月ころに消失する。
3. 皮質レベルの反射である。
4. 上肢の左右非対称の動きは正常である。
5. 図Bに続く抱きつくような動きは正常である。

次の文により問題 29、問題 30 に答えよ。

12 歳の女兒。痙直型両麻痺。膝歩きの様子(別冊No. 10)を別に示す。



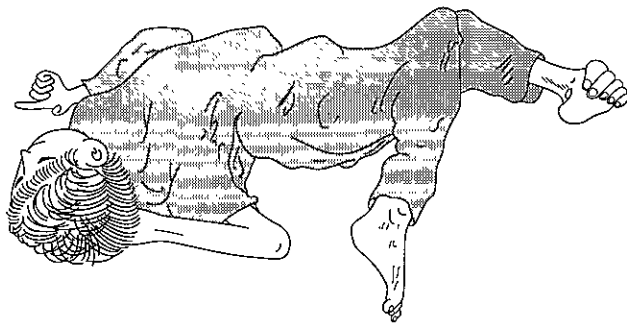
**問題29** 本児の動作を正常と比較した場合の特徴で正しいのはどれか。

1. 支持基底面が狭い。
2. 重心の側方移動が小さい。
3. 重心の位置が低い。
4. 上肢の筋緊張が低い。
5. 体幹の軸回旋が大きい。

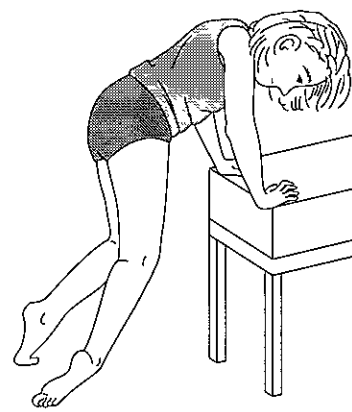
**問題30** 本児の異常な膝歩き動作の原因として可能性が低いのはどれか。

1. 体幹伸展筋群の過活動
2. 腹筋群の低活動
3. 股関節伸筋群の低活動
4. 股関節屈筋群の過活動
5. 股関節内転筋群の過活動

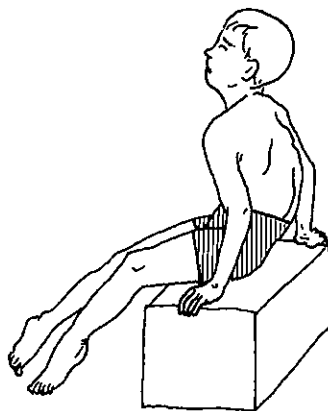
問題31 痙直型両麻痺児はどれか。2つ選べ。



1



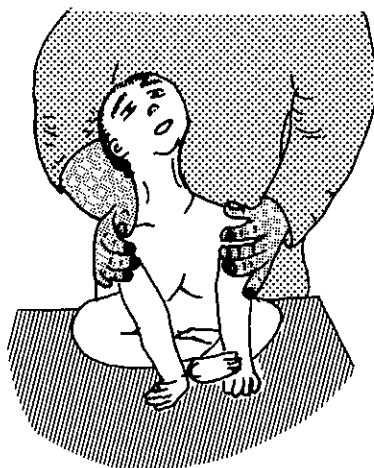
2



3



4



5

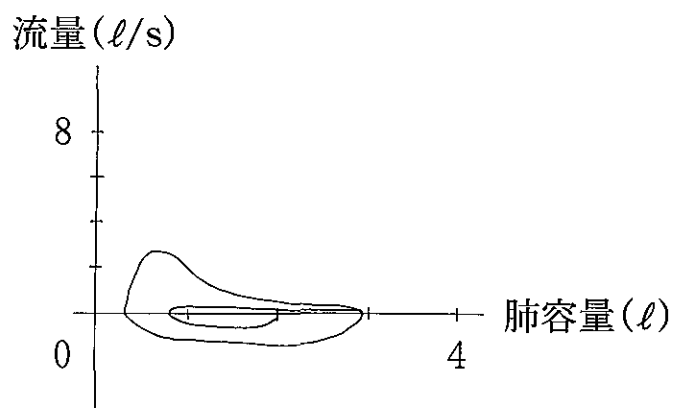
問題32 47歳の男性。心筋梗塞で入院中。重篤な合併症はない。退院後のホームエクササイズとして最大心拍数の70%の運動が指示されている。

運動時の目標心拍数(拍/分)として適切なのはどれか。

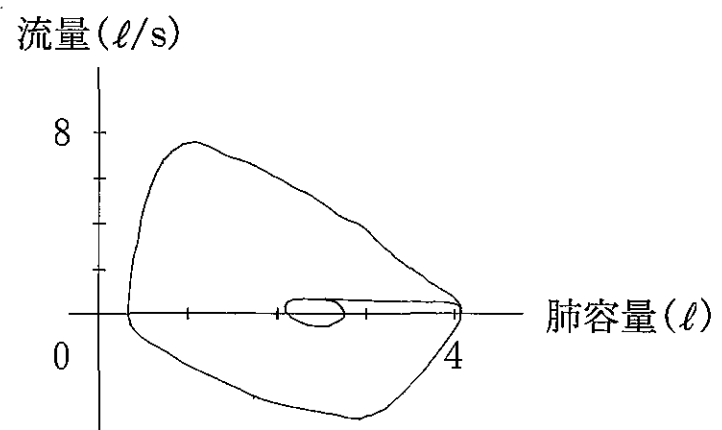
1. 80
2. 100
3. 120
4. 140
5. 160

問題33 呼吸機能テストの結果、図Aのようなフローボリューム曲線を得た。

この患者の呼吸理学療法で誤っているのはどれか。ただし、図Bは健常者の結果を示す。



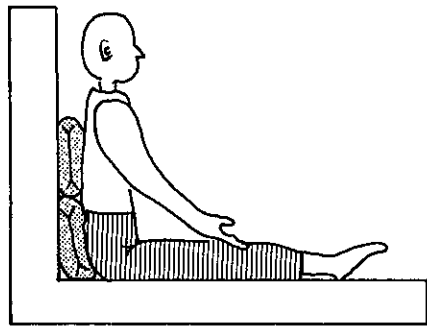
図A



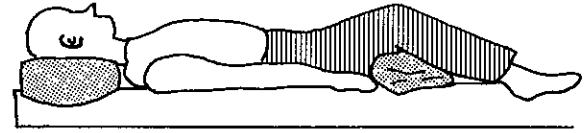
図B

1. 胸郭の可動性維持
2. 口すぼめ呼吸の指導
3. 横隔膜呼吸法の指導
4. 強制吸気の指導
5. 腹筋の筋力増強

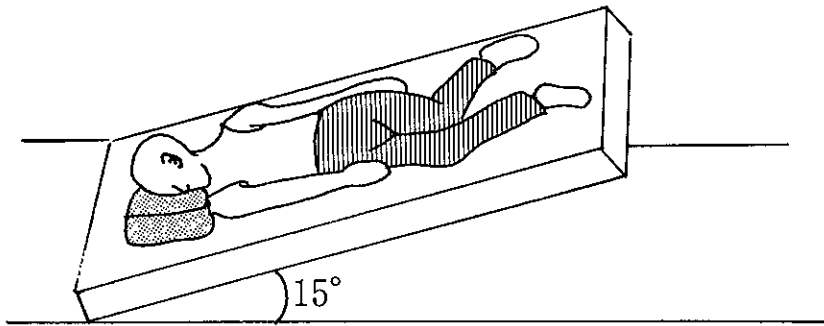
問題34 左肺区域に対応する体位排痰法で誤っているのはどれか。



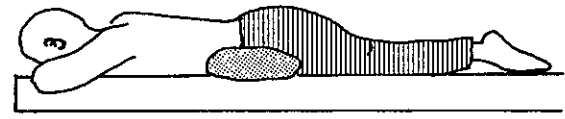
1. S1、S2



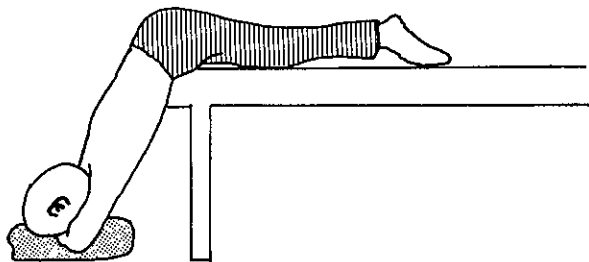
2. S3



3. S4、S5



4. S8

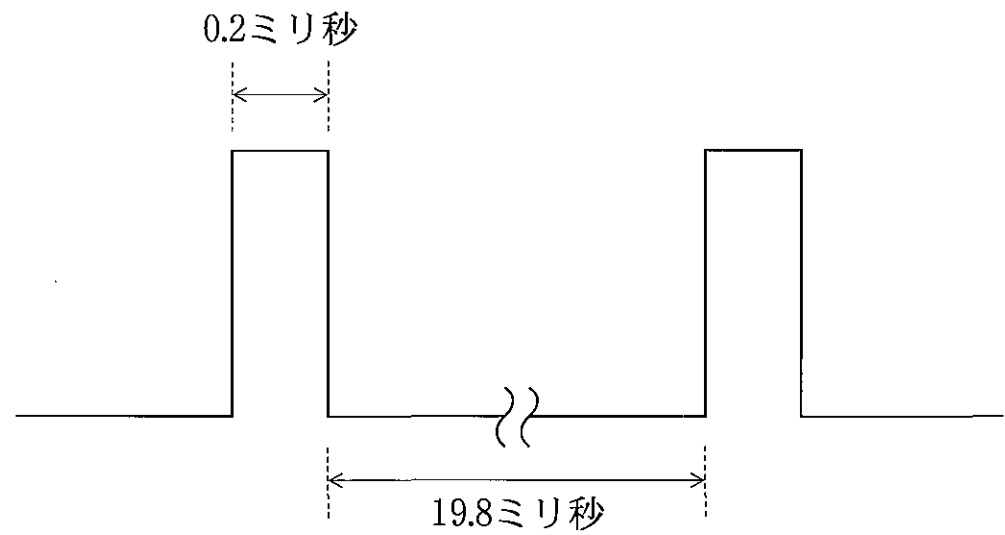


5. S10

問題35 電気刺激療法に用いるパルス電流図を示す。

周波数で正しいのはどれか。

1. 5 Hz
2. 10 Hz
3. 20 Hz
4. 50 Hz
5. 100 Hz



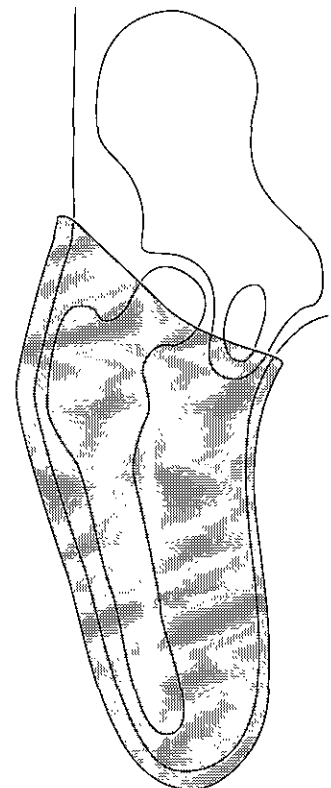
問題36 45歳の女性。40歳で関節リウマチを発症し、寛解と増悪とを繰り返している。左膝関節の疼痛と変形とが強いため人工関節置換術を検討している。両手関節の腫脹は著明であるが杖歩行が可能である。

上肢の支持側と杖の選択で適切なのはどれか。

1. 右上肢のT字杖
2. 左上肢の四脚杖
3. 右上肢の片松葉杖
4. 左上肢のロフストランド杖
5. 右上肢のプラットホーム杖

問題37 図に示す大腿義足ソケットの特徴はどれか。2つ選べ。

1. 坐骨結節に体重が集中する。
2. 会陰部の疼痛がしやすい。
3. 内外径に比べ前後径が狭い。
4. 断端が内転位に保持されやすい。
5. 側方の安定性がよい。



問題38 6歳の痙直型両麻痺児。平行棒内での歩行を練習中。注意すれば踵を接地して歩けるが、足部外反扁平位と膝関節屈曲位とになりやすい。

短下肢装具の処方で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 外側ストラップを付ける。
2. アーチサポートを付ける。
3. 半長靴にする。
4. 外側フレアヒールを用いる。
5. 踵を補高する。

問題39 装具(別冊No. 11)を別に示す。

適応でないのはどれか。

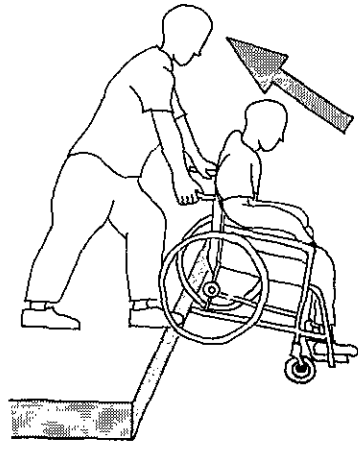
1. 脛骨高原骨折(プラトー骨折)
2. 脛骨骨幹部骨折
3. 脛骨骨折遷延癒合
4. 脛骨天蓋粉碎骨折(プラフォンド骨折)
5. 距骨頸部骨折後骨壊死

別 冊

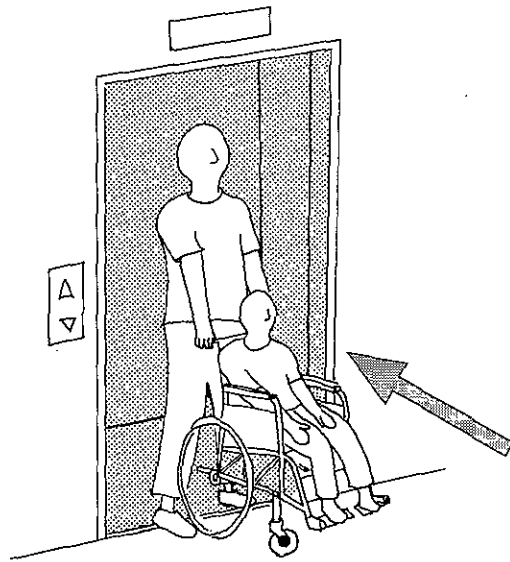
No. 11 写 真



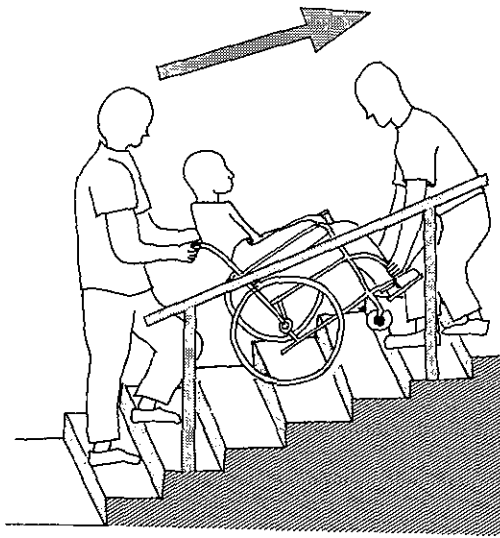
問題40 車椅子の介助法で誤っているのはどれか。



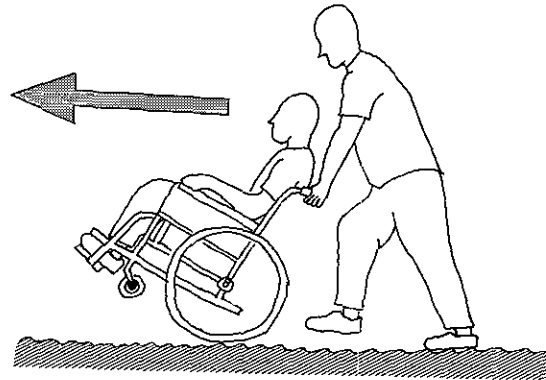
1



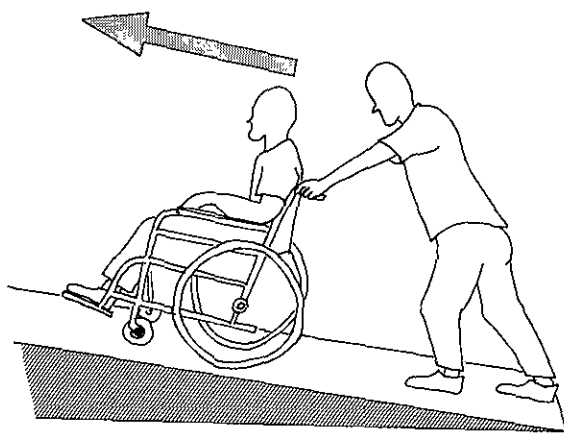
2



3



4



5

問題41 関節可動域測定法(日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会基準による)

における運動と前腕肢位の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 肩関節屈曲・伸展——一回内位
2. 肩関節外旋・内旋——中間位
3. 肘関節屈曲・伸展——一回外位
4. 手関節屈曲・伸展——一回外位
5. 手関節橈屈・尺屈——中間位

問題42 筋短縮を評価する関節角度の測定における筋と測定方法との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 指伸筋——手関節掌屈位での第Ⅲ指 PIP 関節屈曲角度
2. 深指屈筋——手関節掌屈位での第Ⅱ指 PIP 関節伸展角度
3. ハムストリングス——膝関節屈曲位での股関節屈曲角度
4. 大腿直筋——股関節伸展位での膝関節屈曲角度
5. 腓腹筋——膝関節屈曲位での足関節背屈角度

問題43 Daniels らの徒手筋力テストによる膝伸展の測定で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 筋力 1 では大腿四頭筋セッティングで筋収縮を触知する。
2. 筋力 2 では股関節外旋による代償動作を防止する。
3. 筋力 3 の抑止テストの最終域では膝の過伸展を防止する。
4. 筋力に問題がなくても膝伸展可動域制限のある場合は 4 とする。
5. 筋力 5 では患者に腕組みさせて実施する。

問題44 Daniels らの徒手筋力テストの際に生じる代償運動とそれを起こす筋との組合せで誤っているのはどれか。

1. 股関節外転——大腿直筋
2. 膝関節屈曲——腓腹筋
3. 肩関節外転——上腕二頭筋
4. 肘関節屈曲——方形回内筋
5. 母指内転——長母指屈筋

問題45 Daniels らの徒手筋力テストに応じた筋力増強法の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 筋力1 ———— 筋電図バイオフィードバック
2. 筋力2 ———— 低周波刺激
3. 筋力3 ———— 高周波刺激
4. 筋力4 ———— 浮力を利用した水中運動
5. 筋力5 ———— 経皮的電気神経刺激

問題46 上下肢の計測で正しい組合せはどれか。2つ選べ。

1. 上肢長 ———— 肩峰から尺骨茎状突起まで
2. 上腕周径 ———— 上腕の中央部
3. 前腕周径 ———— 前腕の最大膨隆部
4. 大腿長 ———— 大転子から外側膝関節裂隙
5. 下肢長 ———— 上前腸骨棘から足関節外果

問題47 感覚検査の組合せで誤っているのはどれか。

1. 二点識別覚 ———— ノギス
2. 温 覚 ———— 40～42度の温水
3. 冷 覚 ———— 0～-2度の氷水
4. 触 覚 ———— Semmes-Weinstein (セメス・ワインスタイン)モノフィラメント
5. 振動覚 ———— 音 叉

問題48 検査結果と筋緊張の亢進を疑う筋(群)との組合せで誤っているのはどれか。

1. 股関節他動外転時の抵抗 ———— 股関節内転筋群
2. 足関節背屈の可動域低下 ———— 下腿三頭筋
3. 肘関節他動伸展時の折りたたみナイフ現象 ———— 上腕二頭筋
4. 手関節他動背屈時の歯車現象 ———— 手指伸筋群
5. 頭部落下試験で落下速度低下 ———— 頸部屈筋群

問題49 顎関節の運動と咀嚼筋の組合せで誤っているのはどれか。

- ア. 閉 口————両側の側頭筋
- イ. 開 口————両側の外側翼突筋
- ウ. 下顎を前方に突き出す————両側の外側翼突筋
- エ. 下顎を後方に引く————両側の内側翼突筋
- オ. 下顎を一側に偏らせる————同側の内側翼突筋

1. ア、イ    2. ア、オ    3. イ、ウ    4. ウ、エ    5. エ、オ

問題50 順序尺度を用いた評価はどれか。2つ選べ。

- 1. BMI
- 2. ROM
- 3. MMT
- 4. FIM
- 5. 10 m 歩行時間

問題51 SIAS (Stroke Impairment Assessment Set) で正しいのはどれか。

- 1. 関節可動域は評価しない。
- 2. 意識障害の評価を含む。
- 3. 麻痺側のみ評価する。
- 4. 1 評価 1 課題を原則とする。
- 5. 合計得点は最大で 100 点となる。

問題52 機能肢位(良肢位)について適切でないのはどれか。

- 1. 生活習慣によって幅がある。
- 2. 術後の固定肢位として利用される。
- 3. 目安となる角度は関節ごとに異なる。
- 4. 能力低下を最小限にできる。
- 5. 手指では軽くボールを握る肢位となる。

問題53 手段的ADLに含まれないのはどれか。

1. 食事の支度
2. 電話使用
3. 庭木管理
4. 排泄コントロール
5. 戸締り

問題54 国際生活機能分類(ICF)の活動制限に対するアプローチとして正しいのはどれか。

2つ選べ。

1. ミルウォーキー装具装着
2. 障害筋の筋力増強
3. 利き手交換
4. 関節可動域拡大
5. 車椅子の練習

問題55 機能的自立度評価法(FIM)の得点が4点となるのはどれか。

1. 監視下で車椅子から便座に移乗している。
2. 口頭指示を受けて50m以上杖歩行をしている。
3. 患側下肢を持ち上げてもらい階段昇降をしている。
4. 車椅子走行で角を曲がる時に押してもらう。
5. 排泄の後始末で身体を軽く支えてもらう。

問題56 脳卒中片麻痺患者が入浴する際の指導の組合せで適切でないのはどれか。

1. 非麻痺側上肢の洗体———吸盤つきブラシを使用する。
2. シャワーの使用———非麻痺側で水温を確認する。
3. タオル絞り———蛇口に巻きつけねじる。
4. 浴槽内への移動———麻痺側下肢から浴槽に入る。
5. 浴槽内での座位保持———滑り止めテープを使用する。

問題57 激しい運動によって単位時間当たりの血液量が減少する器官・組織はどれか。

1. 脳
2. 肺
3. 心筋
4. 腎臓
5. 骨髄

問題58 パラフィン療法で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. パラフィンの比熱は大きい。
2. パラフィンは引火性がある。
3. 身体の深部温度の上昇効果が高い。
4. 肩、膝など近位部には使用できない。
5. 温度を 55～60℃ に設定する。

問題59 電気刺激療法の目的で誤っているのはどれか。

1. 廃用による筋力低下の予防
2. 脱神経筋における神経終末の発芽促進
3. 不動に伴う浮腫の軽減
4. 痙縮の軽減
5. 尿失禁の改善

問題60 超音波療法について正しいのはどれか。

1. 周波数は深達度に影響しない。
2. 空気中の照射では皮膚と導子を約 10 cm 程度離す。
3. 水中の照射では温熱効果は期待できない。
4. 導子を固定して照射すると組織に過熱は生じない。
5. 成長期の子供の骨端線への照射は避ける。

問題61 立位での全身浴で、頸部までつかったときの生体反応で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 利尿作用
2. 静脈還流量の減少
3. 肺活量の増加
4. 1回心拍出量の減少
5. リンパ循環の促進

問題62 前交通動脈瘤破裂によるくも膜下出血で生じやすいのはどれか。2つ選べ。

1. 錐体路徴候
2. 小脳性失調
3. 記銘力障害
4. 観念運動失行
5. 自発性低下

問題63 脳血管障害に伴いやすい症状と治療の組合せで適切でないのはどれか。

1. 痙縮——リラクセーション
2. 肩手症候群——星状神経節ブロック
3. 肩関節亜脱臼——アームスリングの装着
4. 反張膝——下腿三頭筋の筋力増強
5. 尖足拘縮——アキレス腱延長術

問題64 脳血管障害による片麻痺患者の理学療法で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 下肢装具は立ち上がりから用いる。
2. 歩行時の膝折れに膝軽度屈曲位で体重負荷を行う。
3. 座位バランスが完成してから立位訓練を開始する。
4. 痙縮筋の緊張抑制の目的で持続伸張法を行う。
5. 麻痺筋に対しては筋力増強訓練を行わない。

問題65 脳卒中の麻痺肢の使用促進を目的とする治療はどれか。

1. SI (Sensory Integration)
2. CI 療法 (Constraint Induced Movement Therapy)
3. CPM (Continuous Passive Motion)
4. TENS (Transcutaneous Electrical Nerve Stimulation)
5. Frenkel 体操

問題66 脳卒中片麻痺患者に併発した場合、翌日の歩行訓練を控えるのはどれか。2つ選べ。

1. 心房内血栓
2. 深部静脈血栓
3. 膀胱結石
4. 起立性低血圧
5. てんかん発作

問題67 脳卒中患者の嚥下障害について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 片側性大脳病変では発生しない。
2. 延髄病変で生じやすい。
3. 改訂水飲みテストで評価する。
4. むせなければ安全な嚥下と判断する。
5. 飲み物にとろみをつけるとむせやすい。

問題68 ASIA (American Spinal Injury Association) の触覚の評価で正しい組合せはどれか。

2つ選べ。

1. C6———母 指
2. T6———乳頭線
3. T9———剣状突起
4. T12———臍
5. L3———膝蓋部



問題69 脊髄損傷者の機能残存レベルと車椅子の処方の組合せで適切でないのはどれか。

1. C4———チンコントロール電動車椅子
2. C5———水平ノブ付きハンドリム
3. C6———取り外し式肘当て
4. C7———長いブレーキレバー
5. Th10———低いバックレスト

問題70 脊髄損傷の機能残存レベルと運動の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

1. L1———膝関節伸展
2. L2———膝関節屈曲
3. L3———股関節外旋
4. L4———足関節背屈
5. S1———足関節底屈

問題71 Guillain-Barré 症候群で起こりにくいのはどれか。

1. 異常感覚
2. 呼吸困難
3. 嚥下障害
4. 視覚障害
5. 起立性低血圧

問題72 Parkinson 病のすくみ足への対処法で誤っているのはどれか。

1. 常に同じ側の足から踏み出させる。
2. 一旦、足を後ろへ引いてから踏み出させる。
3. 「いち、に」などの声を出しながら踏み出させる。
4. 床にはしご状の目印を付けてまたがせる。
5. 目標物を注視させて歩かせる。

問題73 失調症の歩行時に出現しやすいのはどれか。2つ選べ。

1. 歩隔の拡大
2. 歩行速度の漸増
3. 二重支持期の短縮
4. 前傾前屈姿勢
5. 不規則な歩調

問題74 多発性硬化症の理学療法で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 歩行障害に対して早期から装具を作製する。
2. 視野欠損に対して照明などの環境整備を行う。
3. 痙縮に対して温熱療法を行う。
4. 筋力低下に対して1RMを反復し強化する。
5. 運動失調に対して重錘を負荷して訓練を行う。

問題75 遠城寺式乳幼児分析的発達検査表で生後2年0月の時点で獲得されているのはどれか。

1. 自分の姓名を言う。
2. 顔をひとりで洗う。
3. 排尿を予告する。
4. 片足で2～3秒立つ。
5. まねて直線を引く。

問題76 正常発達している乳児の運動発達で生後7か月にみられる反射はどれか。2つ選べ。

1. ステップ反射
2. Galant(ガラント)反射
3. 足底把握反射
4. 対称性緊張性頸反射
5. 緊張性迷路反射

問題77 痙直型両麻痺を呈する脳性麻痺児の歩行訓練に際して、痙縮を抑制する手技の対象となるのはどれか。2つ選べ。

1. 大殿筋
2. 中殿筋
3. 長内転筋
4. 腓腹筋
5. 長腓骨筋

問題78 Duchenne(デュシェンヌ)型筋ジストロフィーのステージ5(厚生省筋萎縮症研究班機能障害度分類による)に対する理学療法として適切なのはどれか。2つ選べ。

1. バネ付長下肢装具による歩行
2. 椅子からの立ち上がり動作
3. 両手手すりでの階段昇降
4. 四つ這い移動
5. 移乗動作

問題79 Duchenne(デュシェンヌ)型筋ジストロフィーで早期から短縮を起こしやすい筋はどれか。2つ選べ。

1. 中殿筋
2. 腸腰筋
3. 長腓骨筋
4. 前脛骨筋
5. 大腿筋膜張筋

問題80 学童期の肥満について正しいのはどれか。

1. 単純性肥満は少ない。
2. 大部分は成人の肥満に移行しない。
3. 標準体重に対する過剰の程度を指標とする。
4. 症候性肥満は運動不足が主な原因である。
5. 成人と同様に厳格な食事制限を行う。